

日帰り八ヶ岳全山

日時:2010/08/13

メンバー:犬塚

行程:麦草峠 3:50-東天狗岳 6:00-硫黄岳 7:10-横岳 7:40-赤岳 8:30-阿弥陀岳 9:20-権現岳 11:55-編笠山 13:00-観音平 14:40

体が山を求めている...ってことで、八ヶ岳日帰り全山を計画する。

3:50,麦草峠出発。気温は13と道端の温度計は表示している。下界の暑さが嘘のようだ。暗い。ガスってる。道、ぬかるんで...ヘッドラの灯りを頼りにゆっくりと歩き出す。高見石小屋をしばらくして、ようやくヘッドラの灯りなしで歩けるようになる。ペースを上げたかったが、ぬかるみひどく、ペース上がらず。中山手前から東の空を眺めると朝日も見えるが、これから向かう八ヶ岳の中心はガスの中だ。気分は重かったが、この先の長い行程を考えると、晴れてない方が体力を消耗なくてよいのかもしれないと思った。時折小走りに進みながら、東天狗岳到着。



頂上はガスには覆われておらず、どうにか展望がある。しかし、風酷く、寒い。先を急ごうとした瞬間に斜面を這い上がってきた風に帽子が飛ばされる。あっと言う間もなく、天狗東壁下部へと吸い込まれていた。西条八十風に「母さん、僕のあの帽子、どうしたでせうね？」と僕は心の中で呟いた。さらば3,000円...せっせと歩き、硫黄岳。



ガスって視界なし。風酷し。ため息をついて、先を急ぐ。ちょっとでも歩く速さを落とすと膝が冷える。体を冷やさない

ように早めに歩を進める。



横岳を通過し、赤岳への登り。寒さによるものなのか、ふくらはぎがつりそうになる。



赤岳の頂上も風酷く、いつものざわつきのない頂上には、風が鳴く音が響いていた。時計を見てみると、到着予定時刻よりも1.5時間以上早く着いているので、阿弥陀岳にも向かうこととする。赤岳～阿弥陀岳間はなんとなく嫌いなルートだ。自分の想像の中では赤岳～阿弥陀岳間は短いというイメージがあり、そのイメージと実際の行程を比べてしまうので、とても遠く感じてしまう。なぜ短いというイメージがあるのかは分からない。中岳・中岳のコルではそれなりの人数の人が休んでいた。さっさと抜いて、阿弥陀の頂上を踏んだ瞬間下山開始。



阿弥陀の頂上もやはりガスっていた。赤岳を下りだすとようやくガスも晴れ、時折太陽も顔を出すようになる。この付近が最も膝の状態が悪く、膝が棒のようになったかのようだった。キレットを登り出す頃には再びガスに巻かれる。



権現岳は晴れており、多くの人が休んでいた。どうにか膝もふくらはぎももちそうだったので、編笠山も登る。



登頂。これで、八ヶ岳の全山達成とする。ゆっくり歩いたり、走ってみたりしながら、観音平到着。

いつもいつもこんな山行では体が持たないが、たまにはいいのかもと思えた。一年に一度このルートを通り、自分の体力を測るのはいいのかもしれない。まずは、このルートに一歩を踏み出す強い精神力を保っておかなければならないが...